夕刊
いわき民報
発行所
平市田町48 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人　田原　登

あなたの能率を更に高める
藤森鉛筆
平市かじ町 電206－471

磐高堂々の優勝

三高校のリーグ戦　平工高悲涙をのむ

"白ワシ旗を獲得"

高校野球の華／恒例の県高野連主催、平市、石城体育協会ならびに本社後援の平市高校リーグ戦二十八年度秋季大会は菊薫る文化の日の三日午前九時から無風快晴の絶好の野球日和に恵まれた平工高球場で挙行、若い力の熱球譜をくりひろげておよそ千二百名の観衆を沸かせたが結局名門磐高が二戦二勝、平工高が一勝一敗、平商高が全敗で磐高が初優勝を遂げ本社寄贈の「白わし旗」を獲得、三連覇を狙った平工高は悲涙をのんだ成績つぎの通り

第一試合

平工 001 001 000 2
磐高 001 020 110 5

▼バッテリー（磐高）木田－室田（平工）賀沢－安斎▼二塁打　賀沢（平工）木田、室田、金子、熊谷（磐高）

磐高

	打	安	三	四	失	盗	得
吹田（捕）	5	0	0	0	0	0	0
矢吹（投）	5	0	0	0	0	0	0
藤山（一）	3	0	0	2	0	0	1
永田（二）	3	3	1	2	1	0	1
室子（三）	3	0	1	2	0	0	2
木田（遊）	3	2	0	0	0	0	0
金谷（左）	5	1	2	0	0	2	0
吉井（右）	5	1	0	0	0	0	0
熊谷（中）	5	0	2	0	0	0	0
国井（投）	5	0	0	0	0	0	0
	39	5	11	6	5	5	5

平工

	打	安	三	四	失	盗	得
沼田（捕）	4	0	0	0	0	0	0
小野（投）	4	0	0	0	0	0	0
草沢（左）	4	1	0	0	0	0	0
賀木（遊）	3	0	0	0	0	0	0
高井（一）	4	0	1	0	0	0	0
今田（二）	4	1	0	0	1	0	0
和田（三）	4	0	0	0	0	0	0
飛翔（右）	4	1	0	0	1	0	0
猪斎（中）	3	0	1	0	3	0	0
安藤（捕）	3	1	1	0	0	0	0
	33	3	3	0	5	0	0

戦評五対二のスコアが示す通り投手力、打力に優る磐高の順調なる勝利であり特に磐高バッテリーの投打における活躍は賞賛に価するものであつた、しかし両軍とも守備については練習不充分の感があり特にエラー後の球の処理についてはびん速なるを要す、両軍とも編成間もない新人であるから技倆の未熟なのは意気でこれをおぎなうようにもつと溌らつたる元気な所をみせて欲しかつた（阿部順吉）

▽**第二試合**

磐高 050 031－00A 9
平商 000 000 000 0

▼バッテリー（平商）野木、根本－士井（磐高）金子、木田－室田▼二塁打　藤吹、国井、矢吹、室田（磐高）

平商

	打	安	三	四	失	盗	得
谷（捕）	4	2	1	0	2	0	0
部（投）	4	1	2	0	0	0	0
藤（左）	3	0	0	2	0	0	0
木（遊）	4	0	2	0	0	0	0
中（一）	4	0	1	0	0	0	0
野（二）	4	1	0	0	1	0	0
本（三）	3	1	0	0	1	0	0
井（右）	3	0	0	0	0	0	0
木（中）	2	0	0	0	0	0	0
川（投）	0	0	0	0	0	0	0
	32	4	9	2	4	0	0

磐高

	打	安	三	四	失	盗	得
吹田（捕）	5	2	1	0	0	2	1
矢吹（投）	3	2	0	0	1	0	1
藤山（一）	4	0	1	0	0	1	1
永田（二）	4	0	1	0	0	1	1
室子（三）	3	0	1	0	0	1	1
木田（遊）	3	2	0	0	0	0	0
金谷（左）	4	0	1	0	0	1	1
吉井（右）	4	1	0	0	1	0	1
熊谷（中）	3	0	0	0	1	0	0
国井（投）	1	0	0	0	0	0	0
大川（捕）	0	0	0	0	0	0	0
	34	9	6	4	3	6	8

戦評磐高の打線が二回に爆発し大量五点を得てから磐高が意気揚り逆に平商打線が萎縮し連投の木田投手を打ち込め九対零と磐高の一方的試合となつてしまつた、内容にはなんら見るべきものなく、僅かに磐高木田投手の敢闘のみ光つていた、しかしむしろ連投の木田投手を打ち込めなかつた平商打線の練習不足かあるいは不調のみ目立つていた（阿部順吉）

▽**第三試合**

平工 200 020 00A 4
平商 000 000 000 0

▼バッテリー（平工）賀沢－賀沢（平商）根本－士井

平商

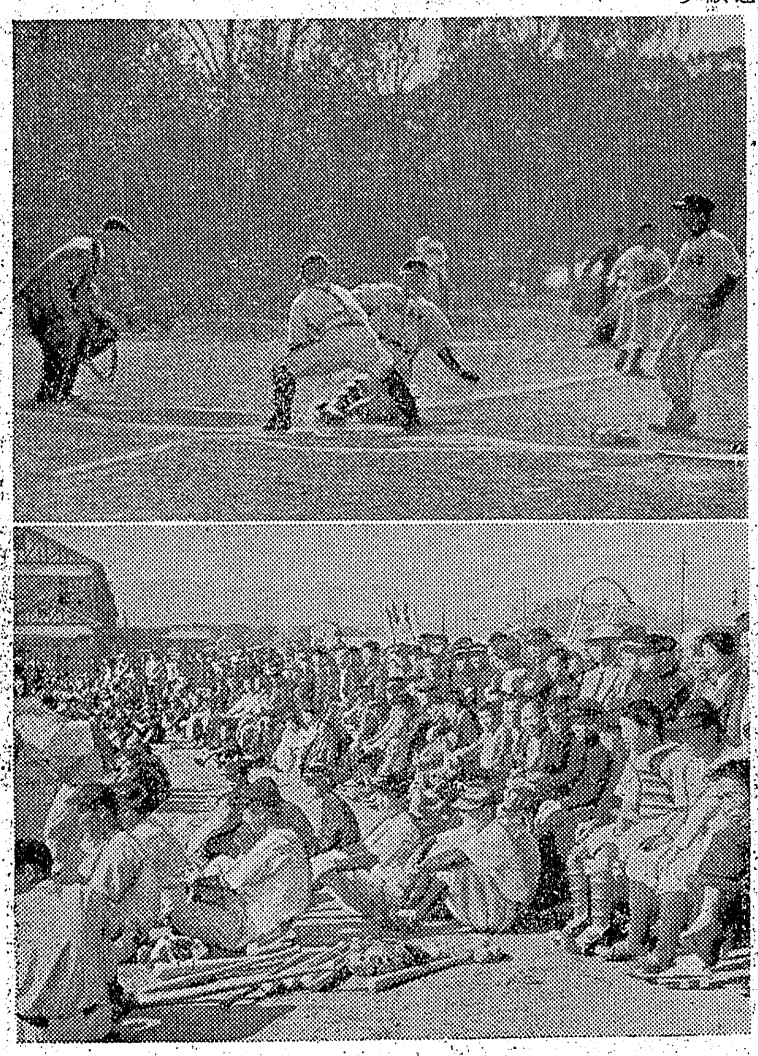
	打	安	三	四	失	盗	得
谷（捕）	3	0	0	1	0	0	0
部（投）	3	1	0	1	0	0	0
木（左）	3	0	0	1	0	0	0
本（遊）	4	0	1	0	2	0	0
藤（一）	4	1	1	0	0	0	0
野（二）	4	1	0	0	0	1	0
中（三）	3	1	0	0	0	0	0
井（右）	3	1	0	0	0	0	0
川（中）	3	1	0	0	0	0	0
	31	6	3	3	2	1	0

平工

	打	安	三	四	失	盗	得
沼田（捕）	5	1	1	0	0	1	0
小沢（投）	5	2	1	0	1	0	0
飛木（左）	3	1	0	0	0	1	0
翔井（遊）	4	0	3	1	0	0	0
賀野（右）	4	1	1	0	0	1	0
高田（一）	4	0	0	0	1	0	0
今田（二）	4	0	0	0	1	0	0
草田（三）	4	0	0	0	1	0	0
和田（中）	4	0	0	0	1	0	0
志賀（投）	3	0	0	0	1	0	0
斎藤（捕）	3	0	0	0	1	0	0
	36	8	5	2	8	3	0

戦評平工高志賀投手の好投で平商高の打線は完封されシャットアウトを喫した、試合の半ばころから平商ナインに焦慮の色濃く平凡なゴロをトンネルする内野手の失策が続出したのも大きな敗因であろうが、平商打線の練習不足が試合を平工高のリードにまかせてしまつた、平商高打線の奮起を望んでやまない（T）

（寫眞説明）上本社野洋社長より初の優勝旗を受ける磐高金子選手　中磐高對平工戦二回表磐高室田本塁に刺さる　下場内を埋めた観衆



湯本の金融打合會

湯本町商工会主催の年末並に冷害に伴う中小企業金融対策打合会は六日午後二時から公民館にひらく

供米割當會あす開く

本年度産米供出割当て決める各市町村別割当会議は明五日午前十時から石城地方事務所で開く、本年郡の割当数量は九千四百七十石

内郷の冷害委會

内郷町冷害対策本部常任委員会は九日午前九時から役場会議室にひらき金融獲得事業について協議する

警察官の大異動

平地區署長に佐藤貞雄氏

刑訴法改正に伴う警部の増員と人事の刷新をはかるため国警県本部では、改正刑訴法施行をひかえて三日（辞令は五日付）警視二十二名、警部補三十二名、警部二十七名、警部補二十二名、巡査部長五十九名、巡査百二十一名など計三百六十一名の大異動を発表した、これは自治体警察合併以来初の大異動で特に▼本部課長と第一線署長の交流▼捜査係警部の適材配置▼警部派出所を警部補派出所に格下げ▼長期にわたつて一つの地区署にあるもの、更新などを重点に行われたものである、本郡関係者つぎの通り（カツコ内は旧任地）

◇**警視の部**▼県本部警察課長　佐藤新八（平地区署長）▼平地区署長　佐藤貞雄（福島地区署長）▼遠多方地区署長　玉川正（植田地区署長）▼植田地区署長　管野栄（県警察学校）

◇**警部の部**▼福島地区署次席　小熊新作（平地区署四倉警部派出所長）▼郡山地区署捜査係長　小桜孝（植田地区署勿来警部派出所長）▼平地区署次席　田中政吉（浪江地区署）

◇**任警部**▼平地区署捜査係長　大内雄助（県本部人事課）▼内郷地区署捜査係長　伊藤武志（内郷）▼植田地区署捜査係長　クスモ田菁男（植田）

◇**警部補の部**　飯坂　伊藤徳造（小名浜）小名浜　斎藤新一（郡山）植田　鈴木伊佐雄（坂下）高田　金子勇（湯本）平　畠沢誠（川俣）保原　三瓶良助（小名浜）

◇**任警部補**　植田　栗城次男（福島）小名浜　石井春美（植田）

◇**巡査部長の部**　内郷　矢野丑松（須賀川）川俣　七海兵己（湯本）本宮　川田庄造（平）須賀川　佐藤誠治（植田）植田　鷲田武雄（郡山）　若松　菅野忠幸（小名浜）植田　佐藤要作（小名浜）内郷　千葉薫（川俣）寺多方　遠藤忠雄（植田）植田　佐藤培一（二本松）湯本　川上寿美雄（石川）

◇**任巡査部長**　湯本　佐々木正雄（坂下）小名浜　三村孝雄（小野新町）原町　山際数（内郷）喜多方　熊谷衛（植田）

◇**巡査の部**捜査課　池田三千男（植田）福島　中沢三郎（湯本）湯本　金子正（喜多方）三春　鈴木泰三（湯本）白河　秋葉俊夫（内郷）内郷　鈴藤馨（喜多方）平　稲井稲治（喜多方）飯坂　清水隆男（平）植田　中村勝栄（二本松）小名浜　穴沢敬春（白河）郡山　新谷至誠（小名浜）小名浜　深谷勇（須賀川）若松　熊田善（小名浜）中村　遠藤修蔵（植田）植田　星次志（中村）植田　佐藤吉弥（須賀川）保原　中村清四郎（植田）中村　桑原堅智（湯本）湯本　小池富治（喜多方）小名浜　星次（喜多方）三春　桜井忠吉（小名浜）植田　渡部和雄（高田）田島　鈴木宏（植田）小名浜　神原健三（二本松）富岡　猪越芳松（小名浜）植田　山崎勇（富岡）湯本　佐藤勝（植田）小名浜　星芳男（喜多方）保原　坪井米次（小名浜）植田　菊地誠（石川）福島　鈴木日出男（平）植田　八巻栄二（保原）内郷　根本秀雄（平）

人事消息

◇中西一路氏（磐女高教官）は全国図画教育大会県代表として四日大阪へ

◇諸橋平市長、金古平市会議長は磐線橋問題で四日上京、六日帰庁予定

天気予報

四日「今晩」東よりの風はれ時々くもり「明日」北乃至西風はじめときどきくもりのよい天気になるみこみ、海上は今晩おだやか、明日日中は多少風波ある。

江照院　猟業の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御鄭重なる御香奠を賜わり御芳志誠に有難う御座いました
早速拝趨の上御礼申上げるのが本意ですが略儀乍ら紙上を以て御礼旁々御挨拶申上げます
昭和二十八年十一月一日
平市才槌小路一八
妻　江尻精子
親戚代　江尻泰
親戚代　木村光一
同　邦

勇丸乗組員合同慰霊祭　執行に際しましては御多忙中に拘らず遠路態々御会葬下され且御鄭重なる御香料、御供花を賜わり御芳志の程厚く御礼申上げます
早速拝趨の上御礼申上ぐべき処略儀ながら紙上をもつて謝意を表します
昭和二十八年十一月四日
小名浜町下町三三
施主　勇丸船主　田島繁夫

質なら仲間町坂本質店へ　電一〇一六
大工町踏切をわたつて　真直ぐに約一丁

診療科目
外科　整形外科
内科　産科
婦人科　レントゲン科
健康保険　労災保険　生活保護法
結核予防法　優生保護法　指定医
医療法人　櫛田病院
植田町番所下六五の一　電三〇一三六五
新設　泉舊藩分院
泉町大字泉字泉二〇一　電二四

★新装成つた谷口★
宴會場が5日に完成致し
皆様の御越しをお待ち致
して居ります
（御座敷女中さん入用）
平市　谷口　電8

新鮮鶏肉と兎肉
毎度有難う御座います
例年の通り兎肉を始めました
兎肉百匁　百二十円
長谷川鶏肉店
平市白銀町電一八一四

賑つた小名濱
文化の日の行事

竹町が優勝
小名濱の野球

小名浜町主催の町内軟式野球大会三日目は三日午後から同町一中グランドで準決、決勝を行い、竹町新光チーム間で決勝を交えたが日没を理由とし新光は七回を主張したが結局いれられず試合放棄、竹町チームが一方的に優勝した、成績次のとおり

▼準決勝　竹町8－3漁協組　新光9－1横町▼決勝　竹町9－0新光（試合放棄）

弓道大會

小名浜町主催の文化祭弓道大会は三日午前九時より同町自性院弓道場で開き日ごろの腕を競つた、入賞者は次の通り

▼金的　小野直千賀▼競射❷右川佐中❷鈴木茂美❸国井勝英❹木田丈内❺馬上益太郎▼揚的、鈴木益八▼大的❶石川佐中❷馬上益太郎❸木田丈内

一五八陳列
菊花觀賞會

小名浜町港菊会では菊花観賞会を七日まで一週間、同町本町の石井医院脇で開いている、今年は天候の不順が祟つて菊の育成には特に腐心したそうだがそれでもおよそ三千名の会員の丹精こめた懸崖二十四、大輪六十五、盆栽六十九の百五十八鉢がギツシリ展示され、ふくいくと高い香りをはなつている、特に同会々長吉田平吉さんは〃躍進福島〃と銘うち只見川電源地帶の山水の景をはじめ電気を活用して動くケーブルカー、クレーン、石炭を積出す船舶、花電車などを六鉢の菊であしらつた逸品を出品、歓賞の者感歎の的となつている

四チームで争覇
都市野球　七、八両日開く

東北社会人野球連盟主催の第七回東北選抜都市対抗野球大会は七日午前十時半から金坂球場、八日午前九時から浅貝球場で開く、参加チームは常磐炭鉱、秋田鉄道、青森林友、釜石製鉄の四チームで、入場料は当日大人八十円、学生、小人五十円、前売大人六十円、学生小人三十円、後援会大人四十円昨年度は常磐炭鉱が優勝している

田町青年會役員
平市田町青年会では去る二十九日役員の改選を行い左の通り決定した

▼会長　佐藤善一▼副会長　金子圭助▼庶務部長　酒井民平、〃副部長　綿引欽吾▼会計部長　大久保泰祐、〃副部長　渡部勇▼体育文化部長鈴木俊夫、〃副部長　吉田豐政、▼火防部長　大塚栄一郎、〃副部長　山岸佐吾平▼顧問は元会長大谷好道、〃副会長　小松非吉

マラソン入賞者
二日行われた磐城高のマラソンはコンデションもよく二百余名の生徒は汗ダクで朋を競つた結果左の通り入賞

二割が新車
磐越線はよくなる

磐越東線（平－郡山間）の客車改善陳情の結果、仙鉄局では本月一日から同線の客車のうち約二割を鉄骨製の新車に増配して運行する運びとなつた、一列車にすると三輛が割当るわけだがこの改善対策は二十九年度に本腰を入れて全部新車に切換える計画となつている

四倉高の文化祭
四倉高校文化祭は来る七、八の両日挙行する

深秋雑感
吉屋貞一

石炭不況の声高いおりから常磐鉱業は如何にあるべきかの課題は近く解答を迫られていると思うが先ず時代に適応して石炭の化学的管理の実現を目標に進むことが得策であろうけれども、差しあたり炭価はどうなるかといえば、通産省の当事者に聞くと此辺で値段は棚ぼいを続けて行くものと観察しているらしい。今外国から安い石炭を多量に輸入すれば炭価が暴落して業者の経営難を来すので簡単に決断できないわけで生産コスト引き下げのためならば機構整備を行つた後の問題であるけれども坑炭価はどうなるかといえば、通産省の当事者に聞くと此辺で値段は棚ぼいを続けて行くものと観察しているらしい。今外国から安い石炭を多量に輸入すれば炭価が暴落して業者の経営難を来すので簡単に決断できないわけで生産コスト引き下げのためならば機構整備を行つた後の問題であるけれども坑炭価はどうなるかといえば、通産省の当事者に聞くと此辺で値段は棚ぼいを続けて行くものと観察しているらしい。今外国から安い石炭を多量に輸入すれば炭価が暴落して業者の経営難を来すので簡単に決断できないわけで生産コスト引き下げのためならば機構整備を行つた後の問題であるけれども坑炭価はどうなるかといえば、通産省の当事者に聞くと此辺で値段は棚ぼいを続けて行くものと観察

合は悠に数十億の資金が必要であるから、目下研究中の火力発電を建設するとして約七十五億円の予算となるので、西ドイツあたりは露に低品位炭の液化が利用されている時勢なのでこの企画をも併せ行う時は百数十億円の出資となるが開発銀行あたりが融資を引き受ければ可能の仕事であるまいか

小名浜の日本水素では従来は北海道からコークスを運んで硫安製造に用だてたものを、今度は常磐の低品位炭を使用する装置を設計して十五億の資金を投ずる方針と傳えられ、やがて国内第一に安価の生産費に落ち付くものと見られているが、更に近く同町に工場建設を決定した旭化成は、我国有数のセンイ、薬品、肥料の会社であるから地方炭業界に取つても相当の顧客と思われる。これ等の有力会社と炭田の事業家は手を握つて相互の発展を考えてよかろう。先に茨木県高萩の山二炭鉱を買収した山口県の宇部興産は恐らく此の炭鉱を買収して彼地で成功した

石炭から化学工業への一貫作業の練達した運営を、東北地区に振りのべたい念願かも知れない。

かくして将来は常磐地方が化学工業の進出に依つて工業地区として隆盛の姿を呈する既を待望し且つ努力すべきである。唯上調子な机上論でなく深い研究と、広い世界の視野に立つて百年の計を立つべき時である。ここ数年は創業と工夫をこらして不況を回復することに全力を傾注してもらいたい。

三千名参加
町民の運動會

小名浜町では文化祭町民運動会を秋晴れに恵まれた三日第一小学校々庭で開いた、午前九時打挙げ花火を合図に青年会、婦人会、消防團、小、中、高校生、一般町民およそ三千名が参加、プログラムの幕を切つておとした、一般の自転車運乗り競走、小、中学生のダンスなどはじめ各区対抗綱引きでは幼老男女が一致團結、額の汗をふく一コマもあつて正午すぎ楽しい〃文化の日〃の行事をおえた（写真は町民の綱引きと菊花観賞会）

支援を感謝
榮轉の玉川氏

植田地区署長から喜多方地区署長に栄転した玉川警視は植田へ赴任して二年一カ月になつた、この間町民各位の協力でいろいろな事件を処理し大過なくその使命を果し得た事は皆様の御支援の賜で感謝しています、新任地喜多方は私の郷里に近い処で人情風俗もよく解つていますから凡てに仕事はやり易いと思つているがその反面又難点もあるかも知れないと語つた（写真は玉川警長）

むらさき會の新曲發表會
八日市公會堂

平市むらさき会（鷲野武子さん主さい）秋季箏曲演奏会は来る八日正午からと夜六時からの二回市公会堂本館で開催するが、当日は宮城道雄門下の鬼才と云われる坂本勉氏坂本好子さんも特別出演し、坂本勉氏快心の作「若草」「雨」「祭りの印象」などの新曲発表もあり盛況を予想される

六名が入賞
平一中の圖畫

平一中では各方面で開いた図画展に児童作品を出していたがこのほど六名の入賞者を出し大いに気を吐いた

▼ユネスコ美展塩谷陽子（一年生）▼第七回全日本子供美術展武田昌信（二年生）▼第四回県児童図画工作展　船山克夫（一年生）斎藤龍夫（一年生）遠藤敦夫（二年生）菅野拓郎（二年生）

赤井慰靈祭
赤井村慰霊祭は八日午前十時半から同村第二小学校で挙行する

湯本公民館長に若松氏就任
湯本町公民館長は去る六月前町長松本久吉氏辞任以来空席だつたが十一月一日附で同町二函弁護士若松一美氏（さん）が後任館長と決定辞令を交付された、若松氏は京都帝大法科を卒業した教養人で短歌をよくし公民館運営審議委員会および教育委員会で満場一致で可決館長に推せんされていたもので同公民館は三日文化の日に文部大臣から優良公民館として表彰された公民館だけに若松氏の活躍を期待されている

平局の切手趣味週間
誰にでも手軽に楽しめる大衆的でしかも高尚な收集趣味と云えば切手收集こそはその王座を占めるわけだが、平局では十一月から「切手趣味週間」として在庫特殊切手類の蔵払いをすることになりその道の好事家にとつて得難い珍品も出て来るかも知れないのでこの機会をのがさず賀求めるようにと局では云つている、なお枚数が少いので早いが勝である

時計の店　根本　平二一四六〇番

カバン袋物袋専門店　平二　電317　福山

醸銘酵芳　稲乃祭　古川酒造店　植田町電一六

全国清酒品評会優等賞受領
第一回福島県清酒品評会優等賞受領
第二回福島県清酒品評会優等賞受領
東北清酒品評会優等賞受領

犬猫診療　矢ヶ崎犬猫医院　平市大字鎌田字岸17　電話平1275番（呼）

医療法人　松村病院　平市南町二三（駅より真直大通り二丁）　電話一〇七（受付、事務）　電話一六九六（第二病室）　電話一八九二（給食部）

外科　院長　松村亭
整形外科　主任　田邊勇成
性病科　医員　高野節哉
内科　主任　第一内科　岸本隆夫
胃腸科　呼吸器科　主任　第二内科　岡崎仁
婦人科　主任　松村政次
歯科　主任　松村亭實
技工部　吉田吉之助
レントゲン放射線科主任　新妻春治

○看護婦家政婦募集　平市南町　看護婦家政婦　平　斡旋所
○電話307番
○親切丁寧な看護婦　家政婦　御利用下さい

新築　開店大売出し　3日から7日まで
永らく平和通り小松屋履物店経営中は一方ならぬ御愛顧を蒙りまして誠に有難く厚く御礼申上げます
このたび分離してでんぐ屋履物店として新発足いたしましたから何卒倍旧の御引立御愛顧のほど御願い申上げます
なお大売出し期間中はお買上げの方に粗品呈上いたします
平指定商加盟店
平市並木通り　ひかり座前
（旧　平和通り小松屋履物店）
てんぐ屋履物店　店主　小松俊夫
新都々逸　どこより良い品　どこより安く
これがてんぐの店自慢
営業品目　各種　はき物類　和洋傘類　パラソル　布靴　各種

御結婚の贈物に喜ばれる　正確な誠光堂の掛時計　平市銀座通電一四九六

水戸の菊人形
◇第一会場　豪華見流場面
◇第二会場　子供館　お伽段返し
◇第三会場　けんらん歌舞伎七段返　東都一流豪華アトラクション
◇觀菊　千輪咲　一一〇銭　三本立菊　一五〇〇銭　大輪　五〇〇銭　県産一丈余もの　二〇銭　〃その他　二〇〇銭　菊花品評会　数百銭
◇入場料　一般大人　八〇円　学生　四〇円　中小学生子供　三〇円
◇團体三十人以上割引　觀覧所要時間約二時間
10月20日➡11月30日　会場　二十三夜尊遊園地

重量挙アジヤ大會

來月六日 平市で開催

日本重量挙協会主催の重量挙アジヤオリンピック日本予選は十二月六日平市公会堂で開催する、日本予選をめぐつて京都、大阪などが会場獲得にやつきとなつていたが、本県が昨年の国体で優勝し本年の国体で第二位を占めた実力が認められたもの

常磐Aが優勝

湯本の剣道大會

湯本町公民館主催の町長賜争奪第二回剣道大会は三日午前九時から湯本一小講堂にひらいた結果團体では常磐炭鉱Aチームが優勝二年連覇をとげた、團体、個人試合戦績次の通り

【團体】①常磐炭鉱A②湯本一小③湯本地区署④常磐炭鉱B【個人】①鶴沼聖（常磐）②小柳政吉（湯本地区署）③佐藤満男（湯本一小）④佐藤満（湯本地区署）

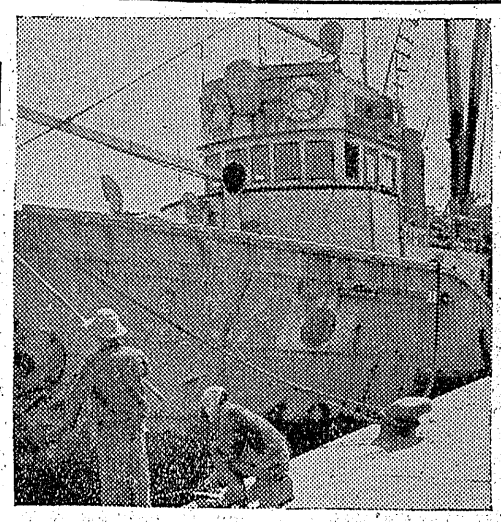
秋晴に惠まれて 人出三万四千

文化の日 平市賑う

菊花賞る文化の日の三日は秋晴れに惠まれて平市は近在近郷から繰りだされた家族連れのピクニック連で賑わい菊まつり会場の松カ岡公園遊園地は人出三万四千人と開園以来最高記録を作る盛況でこの日だけはなごやかな日和に凶作の憂いも忘れたかのように楽しい日を送つた、また三十米道路の動物園や磐女、平商の文化祭もかなりの人出で賑わつた

美術展

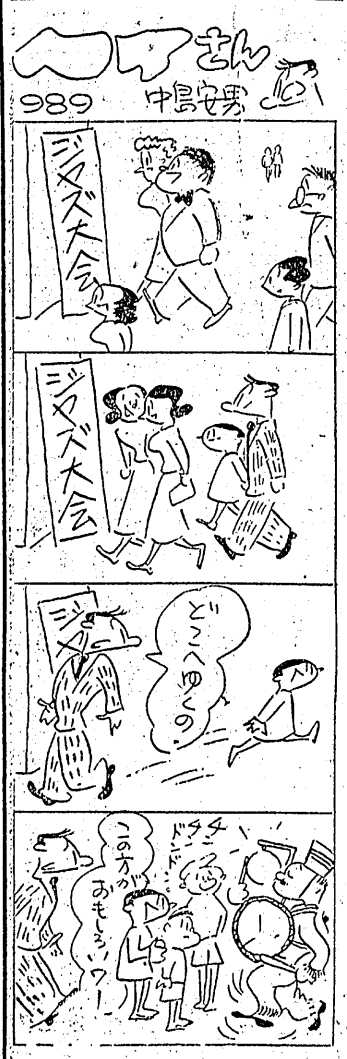
第三回日本新創作美術人会の美術展は三日から五日まで平市公会堂で開催出陳十五点



マラソン大會

八日湯本町

湯本町公民館レクリエーション主催の第二回マラソン大会は八日行われる、午前九時成田山前出発でコースは温泉神社—磐崎村上湯長谷—藤原—白鳥—下湯長谷—関船—湯本駅前—桜木町—湯本駅前—袴町—温泉神社前—袴町—公民館で約十㌔



受賞組決る

平商高の演劇

平商高の創立四十周年記念芸能祭は文化の日の三日午前九時半からひらき去月二十八、九の両日同校でひらいた二十八年度校内演劇コンクール受賞チーム次の通り

▼優勝、修学旅行（三ノ三）▼第二位、出世物語（二ノ一）▼第三位、怒りんぼ人情（一ノ五）▼象の死（二ノ二）▼佳作、長女（二ノ五）▼蟻部隊（三ノ五）▼櫻の木の下で（二ノ四）▼最優秀演技賞「修学旅行」の長子を演じた遠藤トミ子さん▼装置賞「出世物語」「蟻部隊」

天地人決る

湯本の菊花展

湯本町役場後援の菊花会は二日から同町公民館ホールにひらかれているが、毎日見物人が四百人を超え盛況となつている、三日白石初太郎氏らが審査を行い百二十点の中から次の通り天地人をきめた

【大菊】▼天　赤津清五郎（歌絵蒔）中島導雄（槙蹴の粧）柏木末治（清月）▼地　白石初太郎（槙蹴の粧）中島導雄（叙絵学紙）大月実（泰平の秋）▼人　中島導雄（雲井の月）門馬茂（登龍の月）中島導雄（槙蹴の玉水）【切花】▼天　竹沢義蘊（平楽の京）▼地　中島導雄（叙絵章紙）▼人　小井戸庄松（草庵の秋）【懸崖】▼天　門馬茂（献上の雪）▼地　竹沼義蘊（献上の雪）▼人　草野正男（無名【文人作】▼天　中島導雄（桂城の輝）▼地　赤津清五郎（摩助姫）▼人　赤津清五郎（桂城の輝）

五日に打合會

湯本の臨店診斷

湯本町商工会では町内商工業者の経営改善を行い不況に対処するため臨店診断を行うことになり五日午後一時から役場会議室に県商工組合連盟から権威者を招き打合会を開く、なお公民館産業部主催で行う臨店診断は十、十一、十二の三日で〆商店界〆の顧問中小企業公認診断員山田正治氏が来湯することになつており町の沿革、人口動態、業者別軒数、販売圏および利用圏など科学的資料にもとずいて診断される、現在申込者は二十三名で日程は十日平市視察、十一日町内視察および診断、十二日懇談会となつており封建的な商店街だけに期待されている

轢かれて重傷

二日午後二時五十分ごろ植田町駅裏手に当る大昭炭鉱のボケツト線路付近で遊んでいた植田町字横町雄波寅雄さん内縁の妻の長女小沢ヒロエさん（三）は路線を踏み越えようとして炭車に轢かれ重傷を負い前田医院に收容した、全治二カ月の見込

勞務者死亡

トロに轢かれ

二日午後二時四十分ごろ磐崎村上湯長谷字釜ケ前地内の湯本—石川間県道失対事業現場でトロ押し作業中の湯本町宝海自由労務者楠木春吉さん（五）はトロから転落し後からきたトロに轢かれて肋骨骨折右足首骨折、両も裂傷の重傷を負い常磐炭鉱湯本病院にかつぎ込まれたが同夜十一時半ごろ死亡した

戰時色の漁船が入港

李ラインから締出されて

魚群を追つて日本列島の近海を舞台に活躍する水産界では国際情勢が敏感に響くものだがこゝ数日来小名浜港にも船体に日の丸を染めぬいた漁船が戦時体型に逆戻りしたのかと思わせるように現れてハマツ子を吃驚させている—これは東支那海や九州近海で稼いでいた漁船がラインで締出されたまゝサンマ樺戸網や三陸沖のカツオ旋網に転換したため本県沖合に現れたもので、何れも風霜をつげる漁場で漁業に従事していたため国籍を明らかにするため日の丸を船体に画いたものですつかり戦時色を示している、入港中の〝日の丸漁船〟に聞いて見ると「盛漁期にある済州島近海のサバ漁がラインに締出されて北日本のカツオ群を追つているが漁獲が少くラインのサバ漁の方が存分稼げます」と漁場の狭隘を嘆いていた

（写真は小名浜に入港した日の丸漁船）

詰所に投石

三日午後九時ごろ泉駅線路班詰所（副長永山勇蔵氏）で三センチ大の投石があり表窓ガラス四枚、裏側ガラス二枚を破損し表戸のカギがこわされているのを発見平公安室に届出た、酒のみの仕業らしい

水死体發見

勇丸乘組員か

平潟港所属清神丸（三〇㌧）は三日午前十時四十五分ごろ双葉郡久之浜沖合で水死体一個を発見、收容し平潟へ入港した旨小名浜海上保安部へ連絡があつたので、勇丸の乘組員ではないかとみて田村保安官らが検死したが腐乱しているので立会つた遺族らも鼻境がつかず身元不明

銅線を盗む

山田村大字井上字細倉三三吉田捨治さん田人村大字黒田字一倉ラジオ修理業熊田隆寛（さんは二十五年三月下旬ごろ山田村大字小山田字塩沢地内の大昭炭鉱三坑内の倉庫から銅線約二十貫匁（時価一万六千円）外五件同様手段で四千円相当の銅線を盗み出し悉く古物商に売り飛ばした旧悪がこの程ばれ植田地区署に捕まつた

今晩のラジオ

4日

七・三〇 ぽくと私のカレンダー 森繁、越路
八・〇〇 落語「二人ぐせ」春風亭柳枝 声色 悠玄亭玉介 山本ひさし落語「二十四度」春風亭柳好
第二七・〇〇 ラルフ・フラナガン楽團
九・二五 希望の星座 伊藤久男、若山彰、明石信子ほか

自十月二十五日 至十一月二十三日
松ケ岡兒童遊園地
菊まつり
豆電車　回轉ボート
象メリーゴーランド
（年中無休）
主催 平市役所　磐陽菊花會
後援 福島民報社　常磐觀光社

パーマ貸店舗
一、マシン、ドライヤー其他一切附屬付
二、權利なし　三、前家賃若干
四、部屋（通勤、住込自由）
▽委細面談　綴駅前　ミヨーガ美容院

お化粧品なら
三幸
モツト突込んだお化粧の知識をと店員一同研究し
あらゆる講習会研究会に出席
すべての本を勉強しました
御安心して御相談下さい
有名化粧品取揃えてございます
お化粧の科學
平個販チケツト加入店
三幸
TEL 506 1327

近日上映
平館
松本幸四郎　秋島千景　月丘夢路　高田清吉　宮城千賀子　喜多川千鶴　幾野道子　千秋みつる　亀田浩二
藝術祭參加作品
花の生涯
空前の豪華配役
草笛光子　嵯峨美智子　北上弥太郎　三橋達也　川喜多雅二　若杉英二　岩井半四郎　大木実　柳水二郎　浦田研一　山内明　河野秋武　大寺伸　徳川小太夫
毎日新聞連載

かいこ變んじてマユとなる
これならあたりまえですが「お酒変じて酢に」なつたり「安値かえつて高値となる」ようでは困りもの。但し藤越の品は「ますます安値となる」順当なものばかり。第一にメリヤスあり、毛糸ありです。
●カネボウ毛糸半ポ一〇〇〇円
●大人製毛メリヤス二八〇円より
女子店員募集
藤越　小名浜　平市

お洗濯 染直 度に 値打がわかる
ドイツ染料美藍染
特許出願中 新掛
手拭1本35圓より　前掛1本150圓より　印袢天(22貫)500圓より
大口は特に御相談に應じ勉強致します
宣伝とサービスに最適
機械染 馬目染物屋 平 358

女店員　數名急募　ブラジル

新築落成
魚菜市場開設
植田町字池町新国道通電二三七
株式会社 植田魚菜市場
取締役会長　黒木喜一
取締役社長　高荻賢治
専務取締役支配人　清野栄治
常務取締役支産部長　志賀武弘
同青果部長　吉成正二郎　同会計
高荻重四郎　同総務　田代喜七郎
取締役　高荻キン　同　黒木リヨウ
監査役　高木一郎　大木光男　相談役
佐藤丑太郎　顧問　鷲文治　大木光男

いわき民報
（第三種郵便物認可）
日刊1カ月金100円郵送126円
（除月曜）定価一部5円

砂箱で運賃サギ
ヤミ米タネの新手

士や砂をつめたリンゴ箱を米だと偽って売りつけ運賃サギする男が現れ平三件、内郷で一件の被害がある、犯人は三十二、三、背広姿　登山帽をかぶり色白、やせ型の美男子でコザツパリした服装をしている

つい最近平市内の某米屋の店先きに大きなリンゴ箱を二つかつぎ込んだ若い男があつた、登山帽が細面な顔によく似合いなかなかの好男子である。「旦那どうです安うしときますぜ」男はリンゴ箱を指さしながら米屋の主人に目くばせした、いわずと知れたヤミ米売りである「いくらだ」「そうよなあ—これあ見本で駅にあと十箱ばかり預けてあるんだからと…」「何だと駅に十箱それあ大出来じゃねえかよ」「エヘヘヘ…今がおいらの稼ぎときでさあ」「どうでえこれ位で」主人は符牒の指手を勇の前に突き出した「だともなあ…まあよかつべ」わずか三分間ヤミ米売買の契約が成立したのだ、これあタンマリもうかるぞ内心ほくそ笑んでいる主人に男はさゝやくようにいつた「じゃ旦那見本をこゝへ置いておらあ一つ走り駅からあと十箱運んで来ちまうからトラックの運賃だけ借してくんな、まあ三千円もあつたら」「そうかい、じゃヒー、フー、ミーとそら二枚うまく頼むよ」「あいよ」男はそさくさと出て行つた—それから一時間二時間、三時間たつても男は戻つて来なかつた、やがて夜が来た業を煮やした米屋の主人は「野郎どこへ行きやがつたろう、大分話がうま過ぎると思つたが、まあ三千円でリンゴ箱二つの米じゃ損はねえちようつと」舌打ちしながら頑丈に釘づけされたリンゴ箱のフタをバリバリツとはがして見た、油紙を払いのけてグサリと一掴りつかんだ、シャリシャリとした米の手さわり、とたんに主人は青くなつた、つかんだ米はサラサラと主人の指の間からこぼれて土間の土に変つた、中味はみんな砂と土なのである、「畜生、バカタレめ」主人はどやつくように電話の受話器を握つて警察を呼ぼうとしたが力なくまた受話器から手をひつこめた"食管法違反"この五文字が主人のくさくさした頭の中をぐるぐるとかけめぐつた、「おらあヤミ米を買つたんだものなあ」主人はうなだれあがりかまちに腰を下してじつと土と砂の入つたリンゴ箱を見つめた、リンゴ箱十二箱にギツシリ詰つたヤミ米…さつき来た登山帽の若者…渡してやつた三千円…この三つがごつちやになつて眼の前にちらつく、そしてこの土と砂の入つたリンゴ箱は欲深い主人の泣き面をあざ笑つているようだつた—

これがヤミ米売り込みの悪質な新戦術である、ヤミ米と知つて買おうという相手の弱味につけ込みうまくだまして運賃を詐取するのである、若し見破られても同じ穴のムジナで相手も食管法違反に問われるので泣き寝入りも少くないとみられる

湯本圖書室利用
懇談會を開き要望を申入れ

湯本町公民館の図書室利用者懇談会は一日午後七時から同館日本間に四十名が集まつてひらき運営行事などについて懇談した、図書室の出入は公民館の出入が不自由なように気兼をする、これは娯楽施設を解放しないことと話室などがないためだ、また中学生の出入が激しいため勤労者の利用が狭められている現状なので学校側および生徒代表らと懇談し小中生の学校図書館利用を要望することなどをきめ次の要望事項について善処することになつた

▼学校図書館教育を徹底し読書態度を指導してもらう▼炭鉱関係図書の蒐集▼広報活動の技術的研究▼読書会の育成指導▼献本運動と図書室独立運動の促進

洋裁展賑う
百数十點陳列

平高等洋裁学院では本年度の生徒研究生による作品の展示会を一日から三日まで同校で公開した、作品は百数十点が陳列され娘さんから子供まで押しかけ賑わつている特に同校は今年全国洋裁学校生徒作品で全国十二位のうちに入つた作品をだしているので、生徒の洋裁熱は盛んで陳列のうちにも多くの逸品がみられ一段の向上に観客を感心させた（写真は洋装展示会風景）

文化祭開く
五日湯本一中

湯本一中の文化祭は五日午前九時から行い校旗、校歌の披露を兼ね音楽会をひらくことになつた、校旗は二万五千円で生徒のとく名寄附により制定、校歌作詞は日野利春氏、作曲は若松紀志子女史

庚寅會總會

本県教育界に三十年—四十年の永い間尽し功成り名を遂げた人々及び文化事業につくした人によつて結成された平庚寅会総会は一日磐崎村の白鳥鉱泉喜楽園で開き、各自意見の発表あつた後、石城の文化に貢献した人々を顕彰する運動を起すことなど申合せ、紅葉し初めた附近の景色をながめながら寝

湯本落葉の會

湯本町文芸サークル〝クラブ〟の十一月落葉の会は八日午後二時から公民館にひらく、主題はロシアの短篇作家アントン・チエホフの「可愛い女」なお十月発行雑誌〝洋燈〟の批評会も引続き行う

版畫コンクール
作品募集

日本特有の版画芸術が近年、年賀状と密接な関係をもつて発達して来たが、郵政省、日本版画協会共催の「第三回年賀状コンクール」が十二月中旬東京日本橋三越で開催されるので小学生、中高校生、一般の三部門より広く作品を募集中であるが、東北地方予選は十二月上旬仙台において行われることになつており応募要領は平局へ照会されたい

讀書懇談會
八日湯本で

湯本町公民館図書部と浅貝読書会懇談会は八日午後六時半からひらき読書文化について研究協議する、なお三日から傾城辰の口および浅貝読書会に巡回文庫を行う

湯本教委改選

湯本町教育委員会は三十一日午後二時からひらき正副委員長の改選を行い委員長鈴木芳彦、副木村進一両氏を再選した、なお十一月から時報を発刊することになつた

今日の映畫

★平館10日まで　夜　7・15
青面夜叉　南十字星は偽らず
★民劇10日まで　夜　6・40
GIジョー　風雲八万騎
★聚楽館10日まで・夜　6・50
壮烈第七騎兵隊　スパイ
★ひかり座7日まで　夜　7・0
喧嘩稼業　決斗の谷
★世界館10日まで　夜　6・53
血斗　三十三の足跡　ディズニイ色彩漫画（グーフイの魚釣教室）

私の讀書法

若松一美

めるようにして読むと云うこと専門の研究の為の読書とは違つて、否、研究の為の読書でも、先ず何より肝心なことは、一度目的あつて飲む酒はいつまで飲んでも酔わず健康にも害があるように、真の意味の読書とは、何よりも先ず楽しんで読むことでなくてはならない—楽しんで読んでいるうちにいつとなく身について、他人の血となり肉となつてくるものであるから。

書籍は食物と同じく、いくら滋養があつても嫌いなものは身にならず、不消化なもの毒なものは健康を害する、如何に有益な書籍でも嫌々読んでは身につかない雑炊なものはそろそろやくして判る程度で進んで行くうちに味が出て来る、結局読みたいものを読みたい所から—どのページからでも—読んで行く、勿論読みたくないものは読まない。

次に肝心なことは、一般に読書が何か肩の凝るおつくうなものに思うのは、読書は知識を得る為に読むべきものときめてかゝるからで、それは根本の誤りでないかと思う—知識とは、無理に覚えようとして覚えるよりも読んでいるうちに自然に覚えるもので、唯楽くんで読めばよい決して覚えようとしては読まないこと。

之が私の平凡な読書法で、誰でも楽しんで読書ができ、誰でも読書が好きになり、そのうち其読書の中に、ほのと見えてくる第二の世界—全世界よりも大きい、全宇宙にも比すべき、広大無辺な神秘の国。

それほどにうまきかと人の問うたらば何と答へむ此の酒の味

若山牧水

それ程にうまい酒の味と、此読書の味と、いづれが優れるものであるか、下戸の私に酒の味が判らないから何と答えようもない。

又しても酒のこと、酒は良い酒を少し飲むのが本当の酒の味も判り長寿の秘訣であるように、現代のように多忙な生活の限られた時間であつて見れば、出来るだけ良い書を選んで、乱読の弊に陥らないだけの注意は忘れないようにしたいと思う

白玉の歯にしみ透る秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり

若山牧水

酒のみでない私、コスモスが咲いて、黄菊白菊ホノリ匂う秋の夜長になると、あゝ、酒が飲めたらいゝがなあとしみじみ思う。一杯、二杯、三杯、飲む程に、酔う程に「借金取りも懲の声」見るもの、聞くもの、一として懲ばしからざるなく、忽然、目前に再開している桃源郷、酒好きであつた日蓮上人は「酔つた時の良い気持は菩薩が其の人の身に入れ代つているものだ」と云われた。

菩薩が我身に入れ代つているような酔心地、それは酒のみだけが知る第二の世界で、下戸の私の知らない神秘の国である。

浪曲のまくらのようにどこまで響いて来て、さて其の神秘の国を知らない私にも、幸いに第二の世界はある—それは読書、其の私の読書法は、唯楽しんで読

コロムビアラジオ　きれいな音！
サービスカード付
レコードプレヤー・電蓄
特約店　日東商会　平二丁目

毛布　平専門店食の店　中野洋品店

ナショナル　ナショナル
電球　螢光灯　乾電池及ケース
発電ランプ　アイロン　配線器具
硝子セード類の御仕入は是非弊社へ〃
ナシヨナル　全製品代理店　サンヨー　平市1の47電636
田村無線電機株式會社

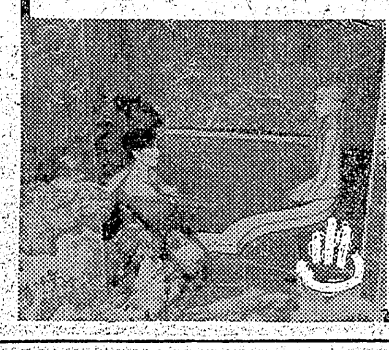
DPはタカ

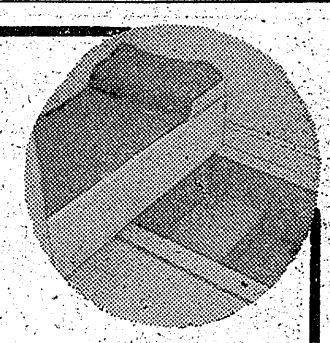
いつも縫いよく美しい!!
ブラザーミシン
家庭用職業用　工業用
石川ミシン商會　平市二丁目　電1232

新川町　貸ふとん　スズキ　電四三

KS石油コンロ
木炭は益々高値に！
石油コンロを使わぬと損
特長
石油コンロは家庭の機械器具機械は専門技術が必要とするコンロも同じで技術者のいる商品は安心して買えます
◎御一報次第係員参上
◎他社製品修理いたします
特約店募集
東北唯一のコンロ製造工場
鈴木機械有限會社
平市草手町電一七二九
販売部　平市一丁目（市原方電二四四）
特約店　平市三十米通り山一商店（電一〇一七）
〃　湯本町三函三久デパート（電二〇三）

浴場改築落成
このたび浴場を改築いたし湯本温泉唯一のスポンジ風呂を新設いたしましたどうぞ御来湯下さいませ





新設のスポンジ風呂
湯本温泉　電一一三
吹の湯